

大学院生に対してSoTLを教える

Teaching SoTL for graduate students:
Future Faculty Program

佐藤浩章（大阪大学 全学教育推進機構）
帝京大学SoTLシンポジウム2021
2021年10月16日

発表概要

1. 日本におけるプレFDプログラムの現状
2. 大阪大学におけるFFPの概要
3. FFPを受講した大学院生の学びの評価
4. 大学院生にSoTLを教える意義と課題
5. 学会を通じたSoTLの普及

参考文献

1. 日本におけるプレFDプログラムの現状

日本におけるプレFD

- 米国等においてはPreparing Future Faculty Program (PFFP) と呼ばれている、大学院生から大学教員への接続を平滑化を目的として開始された教育プログラム（吉良2014）がある。日本ではこれを総称してプレFD（Pre-Faculty Development）と呼んでいる（和賀2003）。
- 2000年代以降、研究大学を中心に様々なプログラムが開発されてきており、とりわけ2010年前後からその数が増えている（夏目2011、今野2016、栗田2020）。
- 2019年には、大学院を持つ大学に対して、大学院設置基準の改正によりプレFD実施または情報提供の努力義務が法令上求められるようになった（大学設置基準一部改正、2019年）。
- その内容は、高等教育論・授業設計（授業方法や評価含む）・ティーチングスキルズ（模擬授業や検討会）・教育業績のまとめ方が一般的であり、教育実践の訓練が主な内容である（栗田2015）。

1. 日本におけるプレFDプログラムの現状

日本国内の主なプレFDの取組み (今野2016:62)

大学名	名称	開始年	形態
北海道大学	大学院生のための大学教員養成講座 (英語版PFF)	2010	大学院授業開講型 (大学院共通授業科目)
	高等理学教授法 (日本語版PFF)	2010	大学院授業開講型 (大学院理工系専門基礎科目)
	TF制度	2015	TF制度型
東北大学	東北大学 大学教員準備プログラム (Tohoku U. PFFP)	2010	課外プログラム型
筑波大学	TF制度	2008	TF制度型
	職業としての大学教育	2008	大学院授業開講型 (大学院共通科目)
	PFPプログラム	2013	大学院授業開講型 (大学院共通科目等)
一橋大学	ティーチングフェロープログラム	2006	TF制度型 (単位認定あり)
東京大学	東京大学フューチャーファカルティプログラム (FFP)	2013	大学院授業開講型 (大学院共通科目)
名古屋大学	大学教員準備プログラム	2005	大学院授業開講型 (大学院共通科目)
京都大学	大学院生のための教育実践講座—大学でどう教えるか—	2005	課外プログラム型
	文学研究科プレFDプロジェクト	2009	課外プログラム型
	大学で教えるということ	2012	大学院授業開講型 (研究科横断型教育プログラム)
	コンソーシアム京都との連携による文学部単位互換リレー講義	2015	課外プログラム型
立命館大学	Preparing Future Faculty (大学教員準備セミナー)	2011	課外プログラム型
大阪大学	大阪大学 未来の大学教員養成プログラム	2014	大学院授業開講型 (大学院等高度副プログラム)
大阪市立大学	大学教育授業実習制度	2011	課外プログラム型
広島大学	教職課程担当教員養成プログラム	2007	大学院授業開講型 (大学院専門的教育科目)

これに加えて、2020年から九州大学大学教員養成プログラム (鄭ら2021)、神戸大学では大学教員準備講座 (近田2021) が開講されている。

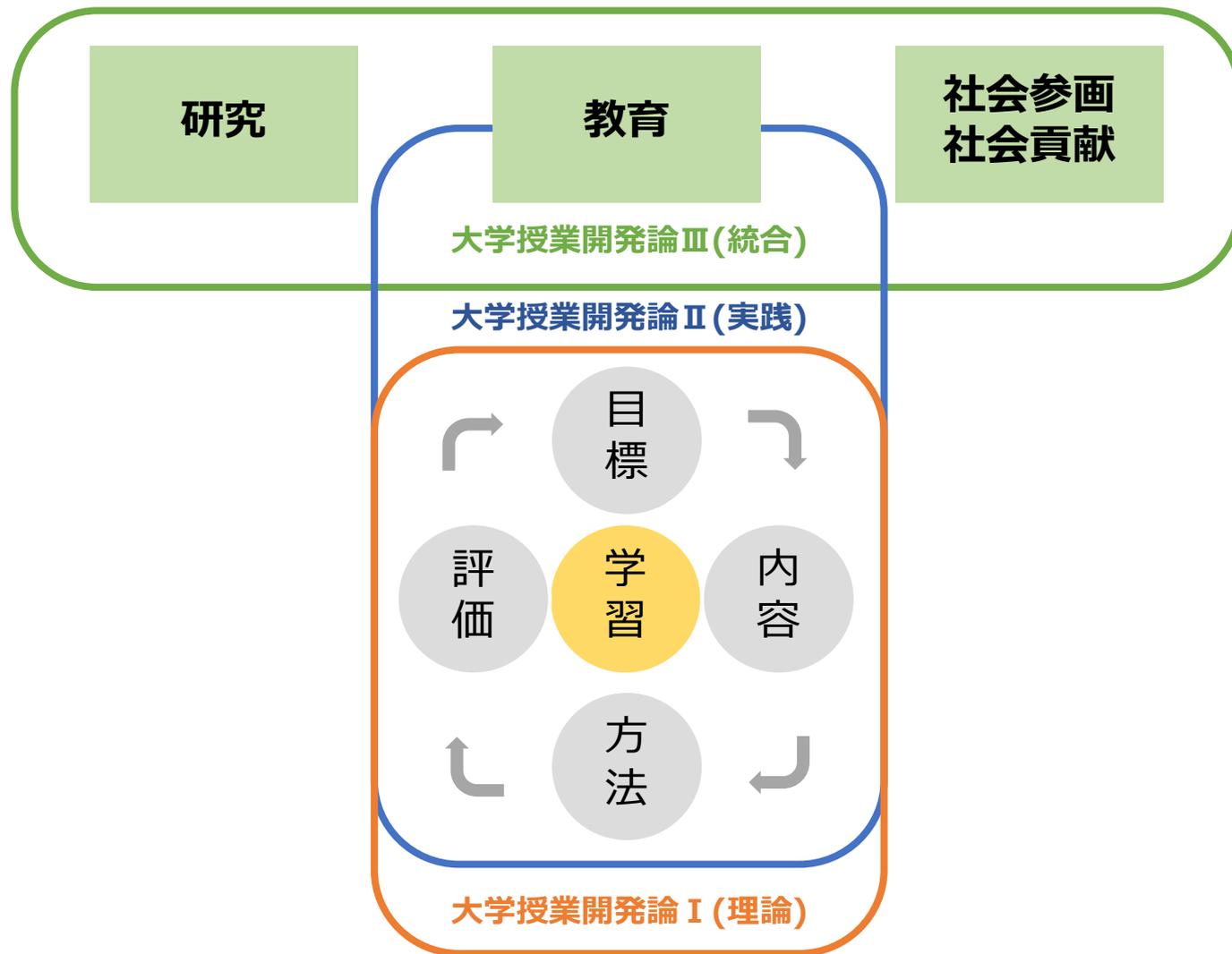
2. 大阪大学におけるFFP

大阪大学未来の大学教員養成プログラムの構成

	科目名	内容
必修	大学授業開発論Ⅰ	授業デザインと基本的な教育技法に関わる知識学習と技能トレーニング
	大学授業開発論Ⅱ	高度な教育技法のトレーニング、授業実習、授業参観（大学授業開発論Ⅰを履修済みが前提）
	大学授業開発論Ⅲ	教育・研究・社会貢献の抱負の作成、教育研究の計画（大学授業開発論Ⅰを履修済みが前提）
選択	学術的文章の作法とその指導	ライティング指導のトレーニング
	現代キャリアデザイン特論	院生向けのキャリアデザインの方法と実践
	その他、指定科目	他部局開講している複数科目

- 2014年より、大学授業開発論Ⅰが開始され、順次開講されていった。
- 必修科目3科目と選択科目1科目を履修することで、大阪大学が公式に認定する高度副プログラムの修了証明書を受け取ることが可能。
- 2020年より本プログラム修了者は、本学の新任教員研修プログラムを一部免除されることとなった。

2. 大阪大学におけるFFP



大学授業開発論 グラフィックシラバス

2. 大阪大学におけるFFP

表3 初等中等学校教員養成のための教職課程と阪大FFPにおける学習内容比較

学習内容	初等・中等学校教員養成のための教職課程	阪大FFP
専門内容に関する知識 <i>Content Knowledge</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科に関する科目 (例：英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各研究科での専門授業
教育学の知識 <i>Pedagogical Knowledge</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義等に関する科目 (例：教職原論、教師論等) ・教育の基礎理論に関する科目 (例：教育心理学、教育制度論等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学授業開発論Ⅰ
専門内容を教えるための知識 <i>Pedagogical Content Knowledge</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践に必要な理論および方法を習得させるための科目群 (例：英語科教育法、数学科教育法、社会科教育法等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文学教育法、医学教育法、工学教育法、など (現在は未開講)
専門内容を教えるための経験 <i>Teaching Experience</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学授業開発論Ⅱ ・TA,TFの経験 ・研究室における後輩指導経験
知識と経験の統合 <i>Integrate Knowledge and Competencies</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職実践演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学授業開発論Ⅲ

2. 大阪大学におけるFFP

大学授業開発論 I

(2単位=90時間)

【開講時期】

春夏学期 1コマ

秋冬学期 1コマ

集中講義

【履修対象】

大学院修士課程・博士課程

日付	回	内容
DAY1	1	オリエンテーションと自己紹介、大学教員の採用の現状
	2	模擬授業
	3	コース・デザイン（シラバスの書き方）
	4	グラフィック・シラバス作成
DAY2	5	模擬授業
	6-8	教育技法（講義法、アクティブラーニング）
	9	クラス・デザイン（授業案の書き方）
	10	学習評価
DAY3	11-13	模擬授業とピア評価
	14	教育哲学とキャリアデザイン
	15	振り返りと将来計画作成

2. 大阪大学におけるFFP

大学授業開発論 II

(2単位=90時間)

【開講時期】

春夏学期 1コマ

秋冬学期 1コマ

集中講義

【履修対象】

大学院修士課程・博士課程

日付	回	内容
DAY1	1-3	オリエンテーションと自己紹介、FFP Iの振り返り
DAY2	4-6	アクティブラーニング型模擬授業、授業実践と授業観察の方法
各自	7-9	授業観察と分析 (大学教員の授業、同級生の授業)
DAY3	10-11	中間報告
各自	12	授業実践 (高等教育機関において90分以上)
DAY4	13-14	オンライン授業のデザインと評価
	15	授業実践の振り返り／全体の振り返り

2. 大阪大学におけるFFP

大学授業開発論Ⅲ

(2単位=90時間)

【開講時期】

秋冬学期 1コマ

集中講義

【履修対象】

大学院修士課程・博士課程

日付	回	内容
DAY1	1	オリエンテーションと自己紹介、FFP Ⅰ・Ⅱの振り返り
	2-5	SoTLの考え方と教育実践研究の計画
DAY2	6	大学教員の研究の抱負作成
	7-8	大学教員の社会貢献の抱負作成
	9-10	大学教員の教育の抱負の修正
DAY3	11-12	高等教育が置かれている現状／3つの抱 負の関連性
	13-14	先輩のSoTL事例紹介
	15	大学教員の抱負とまとめ

2. 大阪大学におけるFFP

SoTLの考え方と教育実践研究の計画作成の教育内容

- 1) SoTLの歴史・理論・意義について講義で学ぶ
- 2) 大学における教育実践研究論文の読解・分析
 - 読解（日本語・英語文献20種類から選択）
 - 批判的考察（ペアワーク）
 - 発表
- 3) 自身の教育実践に基づいて研究計画を立てる
 - リサーチクエスチョンを立てる
 - 研究のアプローチを設定する（質的調査法、量的調査法、混合調査法）
 - 実施のための必要条件を考える
- 4) 研究計画を発表・相互評価

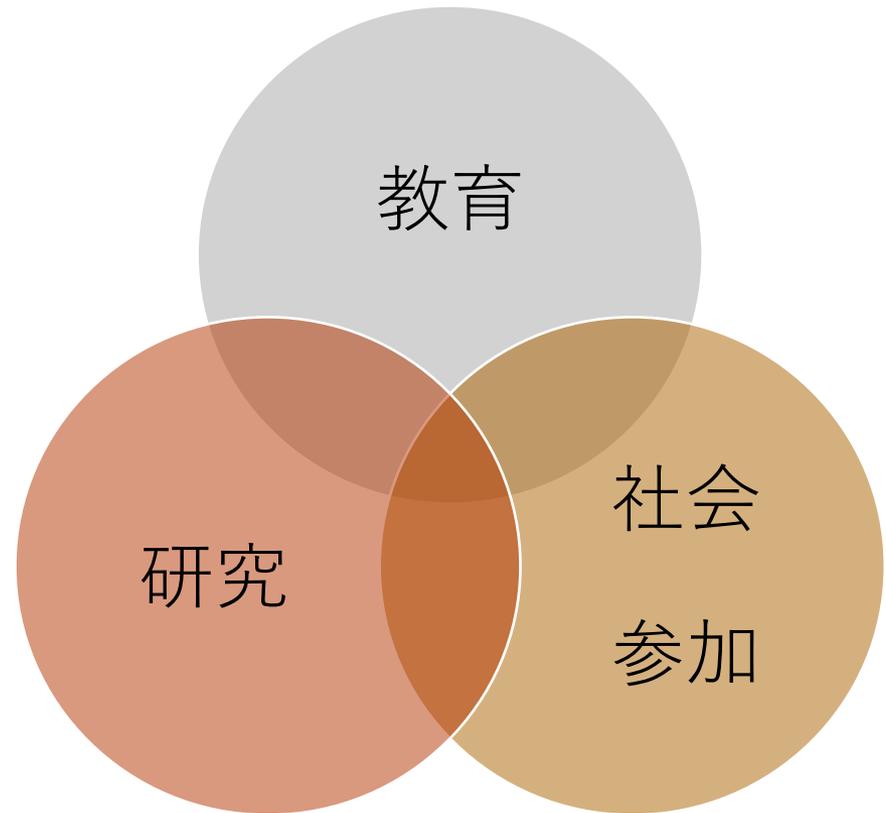
2. 大阪大学におけるFFP

3つの抱負の関連性

大学授業開発論Ⅲにおいては、教育の学識（Scholarship of Teaching and Learning）のみならず、発見・統合・応用の学識についても教えている。

これらの概念の関係性を構築させるために、研究、教育、社会参加という大学教員の3つの学識における抱負（やってみたいこと）をベン図で表現させている。

3者が重なる箇所を見出すことで、研究が教育や社会参加と関連していくことを自分なりに意味づけている。



大学授業開発論Ⅲにおいて
使用されるベン図

3. FFPを受講した大学院生の学びの評価

授業の実際修了状況

- 受講生数：64名(2015年度～2019年度)

	2015	2016	2017	2018	2019
修了生数	8	15	19	9	13
所属 研究科 (内訳)	医学系(保健)(3) 医学系(医学)(1) 国際公共政策(1) 人間科学(1) 生命機能(1) 言語文化(1)	文学(2) 人間科学(3) 経済学(1) 理学(1) 医学系(医学)(1) 医学系(保健)(3) 基礎工学(1) 言語文化(3)	文学(2) 人間科学(4) 理学(3) 医学系(保健)(2) 言語文化(6) 情報科学(1) 工学(1)	文学(2) 医学系(保健)(4) 基礎工学(1) 言語文化(2)	文学(1) 人間科学(4) 医学系(保健) (3) 工学(1) 言語文化(4)
課程 (内訳)	修士(5) 博士(3)	修士(7) 博士(8)	修士(5) 博士(14)	修士(5) 博士(4)	修士(6) 博士(7)

受講学生の課程割合



FFP

(大山2021)

3. FFPを受講した大学院生の学びの評価

SoTLテーマ事例

一般的な教育 法	<p>グループ学習の参加意欲の向上におけるグループ分けの効果の検証</p> <p>講義法における資料配布の効果の検証</p> <p>講義法における座席位置指定が学習者に与える影響</p> <p>演習型授業における反転授業の効果の検証</p>
分野 特有の 課題	<p>学生が主体性を持って学ぶ反転授業は国家試験合格率を上げるために有効であるか ～歯科衛生士国家試験での栄養学について～</p> <p>看護師国家試験対策におけるe-learning活用の有効性について</p> <p>実習中のヒヤリハット事例をグループ学習することの効果検証～基礎看護学実習前オリエンテーションにおいて～</p> <p>授業「統計学演習」における反転授業の習熟度に与える効果について</p> <p>リハビリ学生の実習レポート作成能力向上のための授業デザインの開発</p> <p>個人ワークの導入が学生の授業内容に対する記憶に及ぼす効果—認知心理学を事例に—</p>

- ・修士学生より博士学生の方が分野特有の課題を挙げる(大山ほか 2017)
- ・分野特有の課題
 - 一般的な講義法+〇〇を事例に
 - 分野特有の実践



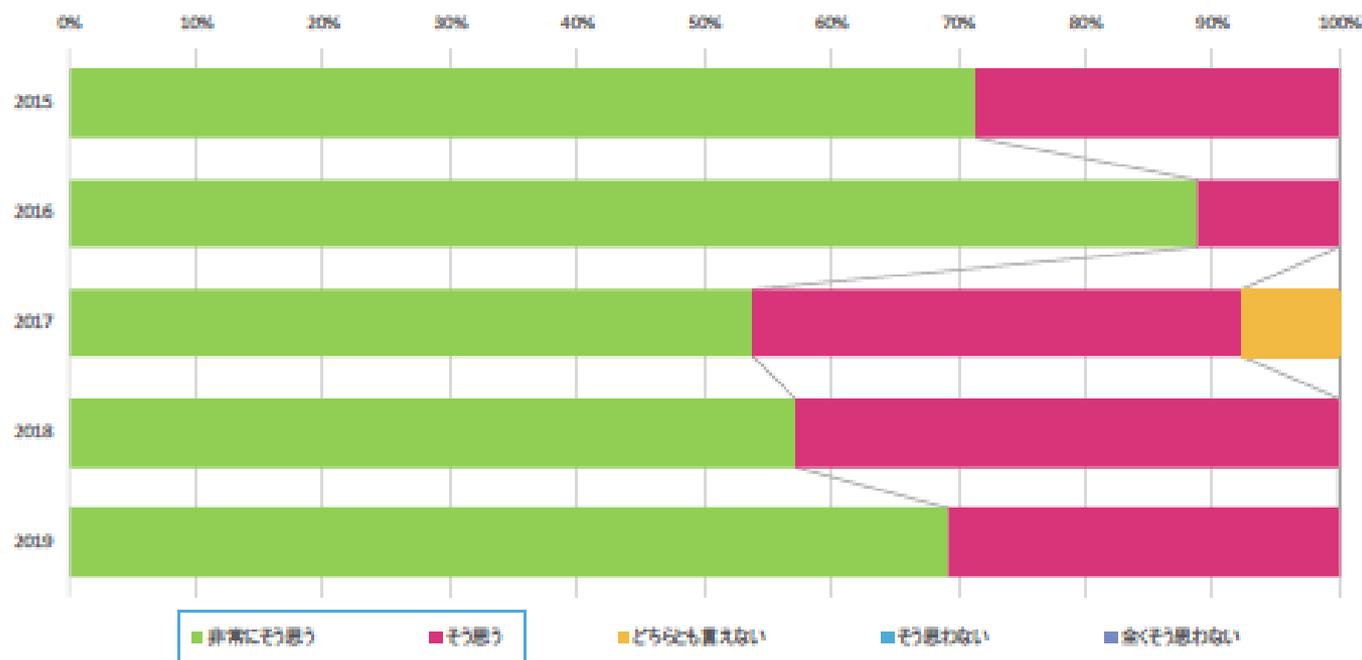
(大山2021)

3. FFPを受講した大学院生の学びの評価

授業の評価

・この授業に満足している【5件法】

(2015 n=7, 2016 n=9, 2017 n=13, 2018 n=7, 2019 n=13)



・概ね満足度が高い

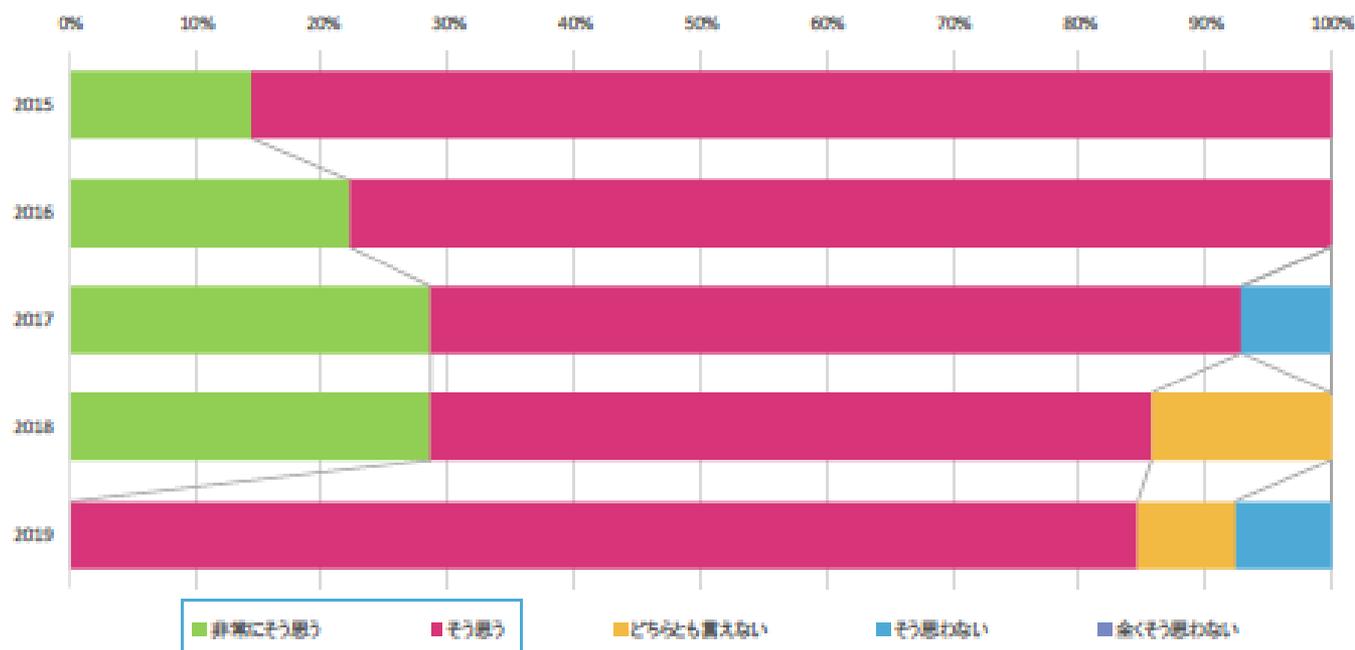


(大山2021)

3. FFPを受講した大学院生の学びの評価

授業の評価

- **SoTLの概念を十分に理解できましたか？【5件法】**
(2015 n=7, 2016 n=9, 2017 n=14, 2018 n=7, 2019 n=13)



• 概ね概念理解ができている

FFP

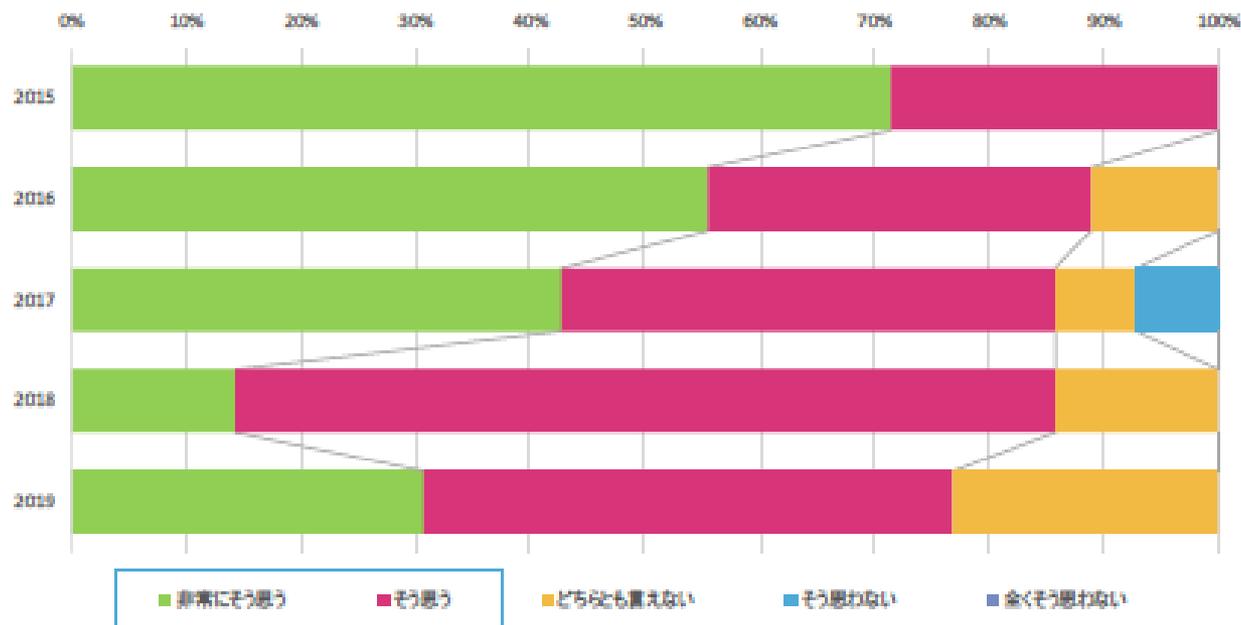
(大山2021)

3. FFPを受講した大学院生の学びの評価

授業の評価

- ・ 今後、大学教員になったらSoTLを実践してみようと思いますか？【5件法】

(2015 n=7, 2016 n=9, 2017 n=14, 2018 n=7, 2019 n=13)



・ 多くが実践を考えている



(大山2021)

4. 大学院生にSoTLを教える意義と課題

大学院生にSoTLを教える意義

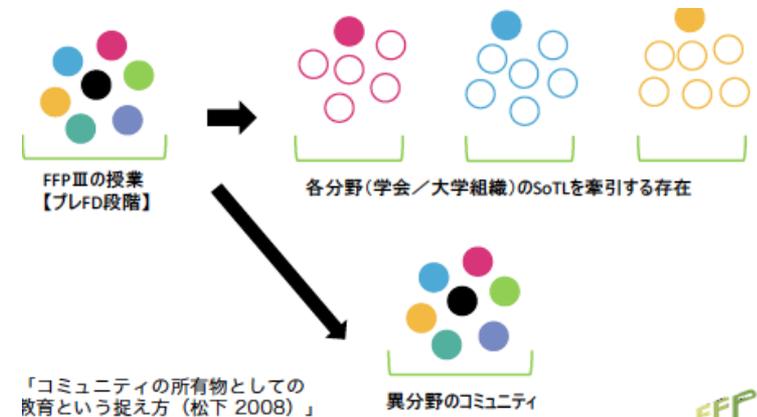
1) 個人にとっての意義

- 就職に有利（教育領域における業績を増やす）
- 理論と実践を踏まえた継続的な授業改善が可能
- 教育実践のための異分野コミュニティの形成に貢献（継続的な教育実践コミュニティの構築を促進。大阪大学ではアルムナイアカデミーが存在しており、修了生同士のネットワークが継続され、授業研究が継続されている）

「SoTLに基づいた教育実践研究計画を実行に移すためには、FFP受講生による修了生のネットワークを構築し、そこで定期的に教育実践研究に関する議論を行う場を支援することが重要」（大山ら2017）

2) 組織にとっての意義

- 教員に対しては負荷の高いSoTLを授業として教えられる
- 学会等、各分野でSoTLを牽引する人材育成
- 各大学で教育リーダーを担う人材育成（FD委員、学科長・学部長など）



（大山2021を一部修正）

4. 大学院生にSoTLを教える意義と課題

大学院生にSoTLを教える課題

- ① 大学教員になる可能性が100%ではない
- ② 教育実践経験の少なさ
- ③ 広報体制の弱さ（受講生獲得が困難）
- ④ 受講生の偏り（理工系が少ない）
- ⑤ 学内教員からの理解と協力不足
- ⑥ TA制度との連携が不十分
- ⑦ 研究能力や管理運営能力開発との連携不足

（栗田2015、大山ら2017、近田2021を参考に作成）

5. 学会を通じたSoTLの普及

学会を通じたSoTLの普及活動例

1) 日本看護学教育学会 (Japan Academy of Nursing Education) の取り組み
学会理事会の企画で、看護学を専門とする大学・専門学校の教員に対して、教育実践を研究にするためのワークショップを2016年から実施している (筆者は立ち上げ時から2020年まで講師を担当)。

2) 大学教育学会 (Japan Association for College and University) の取り組み
大学教育力向上委員会において、各種実践を研究するために必要な資質・能力を向上させるための大学教育研究入門講座を2018年度から実施している (筆者は2020年から2021年まで同委員会委員長を担当)。

いずれの試みにおいても、SoTLの概念が重視されたものとなっており、参加者の中には大学院生もいる。

大学教育に関する研究方法を公式に学ぶ教育機関が存在していない。広く大学院生がSoTLについて学ぶ機会を作るためには、各学会における普及活動には意義がある。

参考文献

1. 近田政博 (2021) 「大学院生の教育能力形成に関する課題ープレFD実施大学への聞き取り調査を中心に」神戸大学大学教育推進機構『大学教育研究』29, 73-86.
2. 吉良直 (2014), 牙大学院生のための段階的な大学教員養成機能に関する研究 アメリカの研究 大学から日本への示唆 牛, 犬教育総合研究 7, 日本教育大学院大学, 1-21
3. 今野文子 (2016) 「大学院生等を対象とした大学教員養成プログラム (プレFD) の動向と東北大学における取組み」『東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要』2, 61-74
4. 栗田佳代子 (2015) 「プレFDの現状からみえる課題と目指すべき方向性」『大学教育学会誌』37(2), 75-78.
5. 栗田佳代子 (2020) 「大学院生のための教育研修の現状と課題」『教育心理学年報』59, 191-208.
6. 鄭漢模・長沼祥太郎・野瀬健・丸野俊一 (2021) 「九州大学におけるティーチング・アシスタント制度改革: 1年間の記録」九州大学基幹教育院『基幹教育紀要』7, 189-212.
7. 夏目達也 (2011) 「大学教育の質保証方策としてのFD-FDの新たな展開の諸相ー」『名古屋高等教育研究』11, 133-152.
8. 大山牧子 (2021) 「プレFDにおけるSoTL実践の意義ー大阪大学未来の大学教員養成プログラムを事例にー」大学教育学会大会発表資料.
9. 大山牧子・根岸千悠・佐藤浩章 (2016) 「SoTLに基づいた教育実践研究に関するプレFDプログラム開発と評価ー大阪大学未来の大学教員養成プログラムを事例にー」『大学教育学会第38回大会要旨集』, 108-109.
10. 大山牧子・根岸千悠・佐藤浩章 (2017) 「SoTLに基づいた教育実践研究計画を作成するプレFDプログラムの試行と評価」『日本教育工学会論文誌』41, 225-228.
11. 田口真奈・西森年寿・神藤貴昭・中村晃・中原淳 (2006). 「高等教育機関における初任者を対象としたFDの現状と課題」『日本教育工学会論文誌』30(1), 19-28.
12. 和賀崇 (2003) 「アメリカの大学における大学教員準備プログラムーファカルティ・ディベロップメントとの関連に注目してー」『大学教育学会誌』25, 83-89.